

～開かれた、農を感じる～ オープンファーム

太陽が燦々と降りそそぐこれからの季節、散歩道周辺では地場野菜や6次加工品の販売が行われます。今回は、地元の人々を呼び込むためにイベントを行ってきた農家さんの中から2軒にお話を伺いました。



石坂オーガニックファーム

体験農園

ReDAICHI

五感で！
農業体験

土を耕す、種を播く、お手入れをする、収穫する、採れたてを食べる、種を守る。貴重な固定種の野菜作り、大地の再生の楽しさが体験できます。

- 土をよみがえらせる環境再生型農業を体験できる
- 固定種にこだわり、化学物質に頼らない野菜づくりが学べる
- 手ぶらで通い、農業を楽しめる
- 区画で取れた野菜（年間約20種類）は持ち帰り可能（1区画15㎡）
- 野菜や育て方について専門のスタッフが講義やワークショップでレクチャー



2022年秋
オープン
予定！

納屋カフェ

MEGURU

オーガニックファームの野菜を使い、アンティーク家具に囲まれた、和のFarm to Table スポット

DATA

体験農園 ReDAICHI・援農ボランティア
石坂オーガニックファーム▶
☎:049-293-2335
休業日：日曜日



納屋カフェ MEGURU・その他「三富今昔村」での収穫体験イベント
三富今昔村 事務局
☎:049-259-6565
開村時間：10:00-17:00
休村日：火曜日



有機農法にこだわる田畑園の茶畑。整然と広がる緑を通りから見るができます。

田畑園



田畑 忠良 さん

上富で100年以上前からお茶の栽培を行う「お茶の田畑園」10代目。令和2年には緑茶の品質が評価され、宮内庁献上茶の認定を受ける。

いろんな人に来てほしい

とにかくいろんな人に来てもらって、三芳町を知ってもらいたい。そういう想いで新しいことにも挑戦し、茶葉を使った新商品開発も行っています。将来は、見晴台を作って茶畑の様子を見学するのも面白いなんて考えています。また、最近では店の前でワゴン販売を行う「田畑緑日」を始めました。多くの人にお越しいただけると嬉しいです。



▲お茶を思わせる緑のワゴン

第3回田畑緑日

日時：7/16(土) 10:00～15:00
場所：田畑園 出店：TABATAEN CAFÉ、高橋園、imo 処 ほか



早川園

早川園の屋敷林に囲まれた空間。静けさと涼しさを感じられます。



早川 徹 さん

上富の農家、早川園の9代目。三富落ち葉野菜研究グループを作り、これまでに落ち葉掃きや枝豆狩りの体験を実施。

この土地の良さを伝えたい

木々に囲まれた屋敷地、その奥に広がる畑。軒先販売に来てくれたお客さんに求められて案内すると、みなさん良さを感じたり、驚きを持って受け止めてくれます。自分たちにとっては当たり前でも、訪れる人の心が動くこの土地の良さをうまく伝えられたり、見てもらいたい。軒先販売や冬の落ち葉掃き体験などでその一助になればいいと思っています。町内に住んでいても、まだまだ上富に来たことがない人も多いと思います。そんな人にも来てもらって、美味しい野菜を食べてもらって、この土地のことを知ってもらえると嬉しいです。これからの季節、夏野菜の軒先販売を行う農家さんもいると思うので、上富に足を運んでみてください。

農業遺産を巡る3つの散歩道

日本農業遺産に認定されている上富地域に3つの散歩道を設定しています（P10～11参照）。誰でも自由に歩くことができるので、自然、農業、歴史を感じながら歩いてみてはいかがでしょうか。



◀曲り角には案内看板があります。



埼玉県指定旧跡

三富開拓地割遺跡

上富地域は、江戸時代に間口に對して奥行が長い短冊状の土地に開拓され、現在までその景観がよく残っています。



▲地割1軒分の区画イメージ



本農業遺産、「蔵野の落ち葉堆肥農法」が息づく里山の景色には自然が多く残り、オープンファームの価値を私たちに示してくれています。

軒先販売で農業を感じる

農業を感じるオープンファームでは、3つの「散歩道」を設定。平地林や畑の中を通る野道（耕作道）を歩いて作物を間近に眺め、軒先販売をしている農家では買い物を楽しみつつ屋敷地の雰囲気その身に感じることができます。

「この季節は朝採れの新鮮な野菜が並ぶことが多いんです。これは軒先販売の特権かもしれませんね。」そう話すのは軒先でトウモロコシを販売する農家「早川園」の早川徹さん。「より美味しい状態の野菜を食べてほしい。」と、軒先販売の季節には、日が昇る前から収穫を始めることもあります。

そんな、数時間前まで近くの畑に生っていた野菜が買える軒先販売。新鮮な「みよし野菜」は、訪れる人と歴史ある畑・屋敷地（庭）を強く結び付けます。

五感を刺激する体験を

緑茶以外に野菜の販売も行う「お茶の田畑園」の田畑忠良さんは、「今後は製茶の体験イベントを開きたい。」と未来への展望を力強く語ります。見るだけでなく、触れて、聴いて、嗅いで、味わう。五感を刺激する農業体験は、自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深めることから農林水産省も推進している取組です（※）。また、食育にもつながるため、食品ロスの軽減も期待されます。

- 4 農の心・農の魂を伝える
- 12 つしん農産物をつくる
- 15 農の心・農の魂を伝える

▶農業体験を通しての食育の取組みはSDGsにもつながります。

※引用：農林水産省「農林漁業体験の推進」